



世界への  
プレゼントに  
なろう

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

# WEEKLY REPORT

No.2809 2015年7月13日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内  
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30  
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室  
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

#### ★ 点 鐘

卯野福弥会長  
 ローターソング「奉仕の理想」  
 司会 海後宗郷副SAA

#### ★ ビジター紹介

卯野福弥会長  
 ひたちなかRC 清水貞一  
 第2分区ガバナー補佐  
 西野信弘セクレタリー

#### ★ 出席報告

榎木直行委員長  
 会 員 数 32名  
 出 席 者 19名  
 欠 席 者 11名  
 出席免除者 2名  
 メークアップ 8名  
 出 席 率 90.0%

#### ★ 会長挨拶

卯野福弥会長  
 先週の火曜日には、那珂湊中学校において、  
 全生徒・保護者を対象に「人生の先輩の話  
 を聞く会」を当クラブの後援で行いました。学校



関係者にも大変喜ばれた講演会でした。このようにすばらしい企画ができたのも前会長の海後宗郷さん、前幹事の常盤昌敬さん、前社会奉仕委員長の高田憲一郎さんのお骨折りによるものです。また、出席された海後宗郷さん、常盤昌敬さん、磯崎孝さん、菊池眞一郎さん、岡田勝さん、高田憲一郎さんありがとうございました。

講師の内山陽瀬さんからは、不屈の精神でバレーナという自分の夢に向かって話を書いて、生徒たちは自分も講師のように頑張ろうという気持ちを持ってもらえたのではないかと思います。講師との年齢も近いことや話の内容が分かり易かったことから、生徒たちは終始熱

心に聞き入っていました。たまたま講師の祖母が私と同じ町内に住んでいるものですから、嬉しさのあまりわざわざ我が家にお礼を言いに来てくれました。ロータリークラブの認知度を向上させるためには、地元へのサービスも大切であると痛感しました。

## ★ 幹事報告

遊座文郎幹事



第1回定例理事会を本日午後6時30分より藤屋ホテルにおいて開催いたしますので、案内をいただいた方は出席をお願いいたします。

## ★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長

清水貞一第2分区ガバナー補佐・西野信弘  
シクレタリー（ひたちなかRC）……一年間  
よろしくお願ひいたします。

海後宗郷会員……清水貞一第2分区ガバナー  
補佐ようこそお出で下さいました。

ロータリー財団委員会

藤咲久光委員長

地区ロータリー財団研究会



7月12日（日）筑西市で開催されました地区ロータリー財団研究会に出席いたしました。研

修内容は「地区補助金申請状況報告」からはじまり、「ポリオ根絶と日本・ロータリーの貢献と可能性」と題した講演の後、昼食となりました。

午後は「寄付金について」・「ポール・ハリス・ソサイエティについて」・「地区補助金について」・「グローバル補助金について」・「ロータリー財団奨学金について」の項目で各担当者から説明を受けた後、「クラブ参加資格認定証」の授与があり、当認定証の授与を受け研修会は終了いたしました。

今回は倉沢修市年度最初の研修でしたので、前年度からの経緯が主で「地区補助金」を中心であったと思います。補助金は2,000ドルが最高限度額で我が那珂湊ロータリークラブは8分区56クラブ中14クラブが2,000ドルを獲得したその中に入っておりました。創立60周年を念頭に申請されました卯野福弥会長の尽力の賜物であったと思います。

## ★ クラブ協議会

「新年度にあたって」

ガバナー補佐としての思い

第2分区ガバナー補佐

清水 貞一（ひたちなかRC）



2015～16年度第2分区ガバナー補佐をお引受けしましたひたちなかRCの清水貞一です。

倉沢修市ガバナー年度のスタートに当たり、重責の重さを痛感しております。

ロータリー歴も長くなりましたが、健康に留意し、さまざまな奉仕活動を思い出しながら、クラブの各奉仕活動の縁の下の支えになればと思っています。

2015-16年度のラビRI会長のテーマは「世界への贈り物になろう」です。仏教徒でもあるスリランカ人らしい奥行きのあるテーマです。その心は「ロータリーを通じて私たちはいつまでも続く、本物のなにかを世の中に残すこと」

にあると。ものをプレゼントするのではなく、「天から授かった己の才能を世にお返しをするのだ。」とも。

小生は和訳のプレゼントでなく、広義な gift が良いと思うロータリアンの一人です。

倉沢修市ガバナー年度の地区テーマは「初心にかえり、新たなる一步を」であります。

歴史と伝統あるロータリーの初心を大事にしつつ、新時代に適した改革が絶対に必要です。古着を脱ぎ捨て、もつと女性や若い世代のロータリアンを増やそうではありませんか？「新たなる一步」には会員増強が必要不可欠と考えます。

国際ロータリーの広報活動も重要です。4人に1人しかロータリーを知らないとの現状の殻から抜け出るには、身近では新しいロータリーのロゴを大いに活用し、各クラブが熱心に取り組んでいる社会奉仕と国際奉仕活動の広報にも注力してまいります。

これらR Iと地区のテーマの実現に少しでも近づくよう頑張りますので、よろしく。

## 2015～16年度 第2分区

第一回会長・幹事会 (2015.6.20)

第2分区 ガバナー補佐 清水 貞一

1. 7月1日現在の会員状況の確認と変更の連絡  
Rotary Club Centralにて入力  
会長、幹事、事務局員、各委員会委員長など

### 2. R I会長賞への挑戦

- 1)・必須項目 クラブ目標値の入力  
15項目以上。Rotary Club Centralに入力  
・人頭分担金の支払い
- 2) 会員の増強と維持  
49名以下のクラブは純増1名以上。  
4項目中3項目。
- 3) 財団への寄付 4項目中2項目。
- 4) オンラインツールの活用  
4項目中2項目。  
My Rotary へのアカウント登録が会員の50%以上など。
- 5) 人道的奉仕 7項目中3項目  
地区委員会への参加、補助金の提唱など。
- 6) 新世代 4項目中2項目  
ローターアクト、インターアクトへの参画。
- 7) 公共イメージ 2項目中1項目  
Club Centralにて報告。

3. ガバナー公式訪問予定とクラブ現況報告書の作成

ガバナー訪問日のスケジュール立案。午前中にご案内する所、人など。

### 4. Intercity Meeting (IM)

期日：2016年2月11日(祝)

会場：クリスタルパレス長寿荘

詳細は実行委員会にて決定し、後報します。

### 5. 地区補助金の有効活用

クラブ：活動内容

総予算／地区補助金

那珂 湊：湊公園に電波時計寄贈

999(千円)／2,000(\$)

常陸太田：市民環境調査事業に観察機器を寄付  
319(千円)／1,000(\$)

大 子：幼稚園児対象鮭稚魚放流活動支援  
270(千円)／900(\$)

大 洗：発達障害児の教育相談会 年度5回  
280(千円)／700(\$)

勝 田：特別支援学校生にカメラ技術習得訓練支援  
940(千円)／2,000(\$)

東海那珂：養護施設児童と地域住民とソフトボール大会  
580(千円)／1,700(\$)

ひたちなか：勝田特別支援校に緊急災害時用発電機  
300(千円)／900(\$)

\*R財団本部に申請中、補助金は予定額。

## ★ R I会長メッセージ (R I指定記事)

世界へのプレゼント

K. R. ラビンドラン



親愛なるロータリアンの皆さん、私たちはロータリーで、善き行いを目指しています。私たちは人類に偉大なプレゼントを残した人々を尊敬しています。弾圧された人に人間の尊厳を与えたエブ  
ブラハム・リンカー

ン。忘れ去られた人々に慈悲の心をさきげたマザー・テレサ。虐げられた人々に平和的な変化をもたらしたマハトマ・ガンジー。彼らは、自らが世界へのプレゼントとなって、自らをささげました。

私たちは、これらを手本として刺激を受けることができます。人生において、自分が大切に

する責任をおろそかにせずに、どうしたら自らも世界にささげられるだろうか、と。今年度のテーマを考えている時、ヒンズー教を通じて私が学んできた教訓を思い出しました。とりわけ、スダマの物語です。

貧しいスダマは、神の化身として王家に生まれたクリシュナの親友でした。2人の少年は、成長するにつれて少しずつ疎遠になり、クリシュナが軍を率いる名高き王となった一方で、スダマは村でつましい暮らしをしていました。

時はたち、スダマの生活はますます苦しくなり、ついには、子どもに与える食事まで事欠くようになってしまいました。妻は、幼いころに親しくしていたクリシュナに助けを求めるよう提案しました。最初は躊躇（ちゅうちょ）していたスダマも結局同意しましたが、手ぶらでは申し訳ないと、家族の残りわずかな食糧のお米を布に包んで持っていきました。

宮殿に入ると、スダマはその威容とクリシュナの歓迎ぶりにすっかり圧倒されてしまいました。丁寧に包んできた米さえ粗末に思えて差し出すことができないまま、持った手を後ろに隠していると、クリシュナは「何を持っているのか」と尋ねました。

布を開いて中の米を見たクリシュナは、軽蔑するどころか大喜びで食べ、二人は思い出話に花を咲かせました。数時間後、変わらぬ友情に感激したスダマは、助けをお願いすることをすっかり忘れてクリシュナの元を去りました。帰り道、スダマは、当初の目的を忘れていたことに気づきました。最後の食糧であったお米もクリシュナと一緒に食べ、なくなっていました。

おなかをすかせた子どもたちが待つ豪に帰るのは至極苦痛でした。しかし、豪の前に立って彼が目にしたのは、前日出てきた時の小屋ではなく、立派な家でした。そして、きれいな服を着て、十分な食事を済ませた家族が、スダマを待っていました。

クリシュナには、スダマがありったけの米をプレゼントしてくれたことがわかっていたのです。そのお返しに、クリシュナは、スダマが必要とするすべてを与えました。この逸話の教訓は、受け手にとって大切なのは、その物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか、ということです。スダマの物語のように、私たちがロータリーを通じてささげることは、いずれは自身への贈り物にもなるのです。私たちには選択肢があります。授けられたものを自分のものだけにとどめるか、またはそれを生かして自らが「世界へのプレゼント」となるか、です。

この機会は二度と訪れません。今年度も一度きりです。この機会を逃さずに生かし、「世界へのプレゼントになろう」をテーマに活動していきましょう。



「ロータリーの友」7月号 7ページより

Rotary 



世界への  
プレゼントになろう

倉沢修市ガバナー 公式訪問日程

11月16日

初心にかえり新たな一歩を



「出席はロータリアンの3大義務の1つです」